

交通ちば



VOL. 412 平成24年9月1日

千葉県交通安全活動推進センター
公益財団法人 千葉県交通安全協会

平成24年 秋の全国交通安全運動

期 間 9月21日(金) から 9月30日(日) までの10日間
交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(日)

目 的 日没時間が急速に早まる秋口は、例年、夕暮れ時や夜間の交通事故が多発傾向にあり、歩行者や自転車の事故の増加が懸念されます。
そこで、秋の行楽シーズンを控えたこの時期に、県民一人ひとりが交通ルールの遵守と交通マナーを実践し、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

スローガン ~ 広めよう 早めのライトと 反射材 ~

- 重点目標**
- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
 - 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
 - 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 4 飲酒運転の根絶

薄暮時間帯は交通事故の多発時間帯、日没の30分前にライトを点灯しましょう

各地の活動ニュース (夏の交通安全運動活動報告から)



千葉北 山王小学校で5、6年生を対象に自転車教室を開く。



千葉西 J R稲毛海岸駅周辺で啓発物を配り無事故を訴える。



千葉中央 蘇我駅構内で高齢者いきいきキャンペーンを行う。



習志野 新京成新津田沼駅前啓発物を配り運動の周知を図る。



千葉南 緑区のゆみーる広場で自転車利用者に反射材を配る。



千葉東 千城台ラパーク店内で啓発物を配り運動の周知を図る。

第45回二輪車安全運転全国大会



第45回二輪車安全運転全国大会 表彰式
後列左から塩浦団長、又賀監督、河合コーチ、小杉選手、高瀬選手、ひとりおいて長谷川選手、中村選手、前列右から半田コーチ、曾我野コーチ

小杉選手が個人の部（女性クラス）優勝

団体の部では第3位

杉選手が満点で優勝し、本県で3人目の日本チャンピオンに輝きました。

小杉幸枝選手（女性クラス優勝）の話

「今回2回目の全国大会への出場でした。満点優勝することができて、本当にうれしかったです。1人ではなしえなかったチーム千葉の団結力の成果だと思います。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。」

松戸市立小金小学校が健闘

「第47回交通安全子供自転車全国大会」が8月1日、東京江東区のビッグサイトで開催されました。

千葉県からは7月に行った県大会で、9年連続優勝した松戸市立小金

第47回交通安全子供自転車全国大会



大会風景

市立小金小学校の長瀬竜也君、小田栗さん、須藤士遥君、渡壁麻央さんが出場し健闘しました。

ライダーの安全運転技能とマナーの向上を図り、二輪車の交通事故を防止しようとして三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで8月4日、5日の2日間、二輪車安全運転全国大会が行われました。大会では、各都道府県の予選を勝ち抜いた47チーム177名の選手が猛暑の中で技能走行や法規走行で安全運転技術を競いました。千葉県チームは団体の3位入賞を果たし、長谷川毅（一般Aクラス）、高瀬章（一般Bクラス）、小杉幸枝（女性クラス）、中村永（高校生等クラス）の4選手が表彰台上り銅メダルを受け取りました。このうち個人の部で女性クラスの小

各地の活動ニュース（夏の交通安全運動活動報告から）



浦安 北部小学校等で自転車安全教室を開き啓発する。



鎌ヶ谷 イオン鎌ヶ谷店前で自転車利用者へ啓発物を配る。



八千代 警察署近くの交差点でシートベルト着用を呼びかける。



松戸 JR松戸駅東西口デッキ上で啓発物を配る。



市川 八幡小学校前で自転車利用者へ啓発物を配る。



船橋 市民まつり会場入口で交通整理を行う。

各地の活動ニュース（夏の交通安全運動活動報告から）

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。



南 総 米沢交差点付近で啓発物を配り安全運転を呼びかける。



山 武 道の駅風和里で啓発物を配り安全運転を呼びかける。



流 山 流山自動車学校で夏休み親子自転車教室を開催する。



君 津 君津鴨川線で君津青葉高校生と街頭啓発活動を行う。



東 金 ベイシア大網店で啓発物を配り交通安全を訴える。



佐 倉 ベイシア佐倉店前で啓発物を配り運動の周知を図る。



館 山 夕日海岸ホテル近くで冷やしおしほり作戦を行う。



茂 原 白子町南白亀川筏のほり大会場で無事故を呼びかける。



多古町 祇園祭りに伴う交通整理と誘導に従事する。



千 倉 白浜町の国道410号で啓発物を配り安全運転を訴える。



い す み 御宿中央海水浴場で帰路の安全運転を呼びかける。



銚 子 国道126号三崎町交差点でシートベルト着用を訴える。



鴨 川 鴨川シートワールドで啓発物を配り運動の周知を図る。



市 原 五井の大型店舗で啓発物を配り事故防止を呼びかける。



匝 瑛 市役所前交差点で啓発物を配り安全運転を訴える。

東金交通安全協会



川戸亮会長

川戸会長の話

「私達が活動する地域は、九十九里浜のほぼ中央に位置していて、国道126号、128号が通っており、年々車の通行量が増えているので街頭監視活動を重点的に行っています。保育園児、幼稚園児、小学生を対象にした交通安全教室、中学生と高校生を対象にした自転車の安全教室を継続的に開催しています。高齢者には各会合の機会をとらえ交通事故防止を呼びかけています。行政区が3つあり、東金のやさ祭り、大網白里町の地曳き祭り、九十九里町のふるさと祭り等の大きな行事の雑踏整理でも頑張っています。自慢できる独自の活動としては、年末に行うサンタクロースの保育所・幼稚園訪問があります。サンタクロースに扮した交通指導員が訪ね、プレゼントを渡しながら交通安全を呼びかけます。もう25年くらい続けている活動で、子どものうちから交通安全の心を育てようというのが主旨です。初めのころの子どもは、もうお父さん、お母さん



左から、岡 幸子さん、内田洋子さん、斉藤ふみ江さん、桜田忠夫事務局長

になっていくわけですが。年末、3地区からそれぞれ1つの施設を選んで行っています。もうひとつは、高齢者宅を訪問して行う出前式の交通安全活動で、道路の横断の仕方、自転車の正しい乗り方や規則などについて話しています。これも長年の活動です。これからも、交通安全協会一丸となって安心・安全な車社会をつくるため警察や行政機関の指導の下に頑張っていきたいと思っています。」

桜田事務局長の話

「交通指導員が活動しやすいように裏方としてこれからは心配りをしていきたいと思っています。事務局には3人の女性職員がいて、窓口では親切で温い対応を心がけています。特に高齢の方には大きな声で優しく接するようにしています。今後は、会員がもっと増えるよう工夫をこらし、活動を展開していこうと思っています。」

8月22日現在県内の交通事故発生状況

区分	累計	前年比
発生件数	13,970件	- 299件
死亡事故件数	101件	- 7件
死者数	105人	- 3人
負傷者数	17,417人	- 248人

*発生件数、負傷者数は概数です。
*数字は平成24年1月1日からの累計です。

死亡事故の特徴

- **高齢者の死者が多い**
高齢者の死者が44人で、前年同期比4人増となっています。このうち19人が歩行中に、11人が自転車乗車中に亡くなっています。
- **安全運転義務違反が多い**
死亡事故の原因となった違反の中で最も多いのは脇見等の32件、安全不確認17件となっています。速度超過10件、信号無視7件と無謀運転が原因の事故も多発しています。
- **シートベルトの着用率が低い**
四輪乗車中の死者29人中20人が非着用。

死者105人！全国ワースト5位！

交通指導員活動 7月の活動

猛暑の中、夏祭りの誘導や街頭活動に汗を流す

7月中の県内各地の交通安全協会の交通指導員と地域交通安全活動推進委員の出動回数と出動人員は次のとおりです。

項目	回数	人員
○駐車対策	35回	312人
○安全教室	71回	179人
・児童		
・一般・高齢者		
○自転車教室	23回	128人
○祭礼警戒	47回	206人
	347回	1796人
○街頭活動		
・チャイルドシート		
・シートベルトの着用指導	35回	422人
・街頭監視	583回	3870人
・街頭広報	257回	614人
○各種イベント	82回	707人
○会議・研修会等		
□出動回数総数	78回	381人
□出動人員総数		1558人
□出動人員総数		8615人

発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会

ホームページアドレス
http://www.chiba-ankyo.or.jp

千葉市美浜区浜田2丁目1番
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

